

路上詩人こーたさんとの出会い ～12月8日 キャリア学習～

前号でも紹介しましたが、5、6年生がこーたさん（石田皓太さん）と出会い、生き方をお聞きしました。こーたさんは路上詩人として広く活躍されていますが、今に至るまでの出会いや経緯、現在の活動への思いなどをお話してくださいました。また、最後は川合小の子供たちに向けてのメッセージを書いてくださいました。

こーたさんの言葉・・・子供たちはどんな言葉をメモしたのでしょうか？心に刻んだのでしょうか？私はこんな言葉が心に残りました。

- 人が喜ぶことは、必ず自分のパワーになる！
- 成長することは、貢献すること！
- できたら成長ではない、やったら成長している！
- 仕事って何をしているかではなく、仕事を通してどんなことをしたいかです！



↑ いただいた書は校長室前の廊下に飾りました！



大型紙芝居～12月14日～ 「じごくのそうべえ」



川合読み聞かせの会の皆さんが、本校児童のために「大型紙芝居」をしてくださいました。毎年恒例の企画です。今年の演目は「じごくのそうべえ」本校の学校司書や教頭も加わらせてもらい、会の皆さんとともに10名を超えるスタッフでの贅沢な舞台となりました。見事なナレーション、人形の動き、紙芝居の絵、せりふの声色 などなど、子供たちはすっかり魅了されていました。

～子供の感想～

面白かったことが二つあります。一つ目は、鬼の声が大きくてはきはきしていて、力がこもっているような言い方をしていたところ。二つ目は、仕組みがすごかったことです。鬼の歯が抜ける場所や、鬼の体内にぶら下がっているひもなどが面白かったです。大型紙芝居を見ていると、もっと本が読みたくなりました。



6年生の研究授業

～12月6日～



6年生が国語の研究授業を行いました。本校の研究テーマである「基礎学力の向上と主体的に表現できる児童の育成～自分から学ぶ・自分でやり切る習慣づくり～」を実現する授業改善を目指しての取組です。

教材は「プロフェッショナルたち」という文章です。登場人物の仕事に関する考え方や取組の姿勢を読み取り、キーワードを見出したり結び付けたりしながら「自分なりに生き方を要約しカードにまとめる」という学習でした。さすが6年生、大事な箇所に線を引いてポイントを見抜いたり、自分の言葉でまとめたりすることができていました。

実はこの学習、国語だけにとどまらない予定です。この



の単元で身に付けた読み取りやまとめの力を使って、教科書にはない人たちのプロとしての生き様も調べていき、これから中学校へ向かうためのキャリアを高めていくこともねらっています。先述した詩人こーたさんとの出会いもカードの一つになる予定です。

【校長コラム】

子供たちは毎月、詩を覚えます。保護者の方に聞いてもらい、担任が聞き、最後に校長室で私が聞きます。校長室ではその子なりの緊張感が伝わります。詩を言い終えた瞬間の「ヤッター」という安堵の表情を見ると私もほっとします。一つの詩を覚えることは、とても大変なことなのです。

12月は詩が2つ示してありました。もちろん、どちらか一つを覚えれば十分です。でも、2つに挑戦してもよいという仕組みです。そんな中、進んで詩を2つ覚えてきた子が現時点で11名もいました。このような子は「**挑戦する子**」です。

詩は「その月のうちに覚える」約束です。にもかかわらず、初日に合格した子は8名、2日目は3名、3日目は2名、土日ははさんで4日目は2名、5日目3名、、、とここまですておきましょう。5日目までに20名近くが合格しました。このような子は「**瞬発力のある子**」です。また「**見通せる子**」ともいえるでしょう。

これらは間違いなく「**伸びる子の要素**」の一つです。3学期、「**先を見通して果敢に挑戦する子**」が増えることを期待しています。

PTA 誌「つるの里」楽しく読みました。執筆者お一人お一人の愛情、やさしさ、思いやり、着眼点(目の付け所)のすばらしさなど、最初から最後まで楽しめました。広報部の皆様、改めてありがとうございました。



今学期も保護者・地域の皆様には学校を温かく支援していただき、お陰様で子供たちは大きく成長しました。心よりお礼申し上げます。3学期もどうぞよろしくお祈りいたします。